

2026/10/19

報道関係者各位

アンリツ株式会社

**アンリツの PCIe 測定ソリューション、
キオクシアの次世代エンタープライズ SSD 高速インターフェース評価に採用
～高速・高性能が進む AI ワークロード向け SSD の評価環境構築に貢献～**



アンリツ株式会社（社長 濱田 宏一）は、PCIe 測定ソリューション「シグナルクオリティ アナライザ R MP1900A（以下 MP1900A）」が、フラッシュメモリおよび SSD のリーディングカンパニーであるキオクシア株式会社（代表取締役社長 太田裕雄、以下キオクシア）の PCIe® 5.0 および PCIe® 6.0 対応 SSD に搭載される高速インターフェースの品質評価に採用されたことをお知らせします。

AI サーバーやクラウドサービス向けストレージシステムの高性能化に伴い、エンタープライズ向け SSD やデータセンター向け SSD で採用される PCIe インターフェースの高速化が進んでいます。PCIe 6.0 では伝送速度の向上に伴い、シグナルインテグリティの確保やリンクトレーニング評価の重要性が従来以上に高まるとともに、評価の難易度が増しています。そのため、高精度な評価と効率的な開発を両立できる評価環境が求められています。

MP1900A は高速インターフェースの物理層評価を支援する高性能 BERT（Bit Error Rate Tester：ビット誤り率測定器）です。高速シリアルインターフェースのレシーバ評価やシグナルインテグリティ評価を 1 台でサポートし、開発初期から検証まで幅広い用途に対応します。また、PCIe リンクトレーニング機能[※1]や LTSSM 解析機能[※2]に加え、優れたアナログ入力性能による高い入力感度を備えており、高速化が進む PCIe 6.0 において、安定した評価と効率的なデバッグを実現します。

キオクシアでは、PCIe 6.0 対応 SSD 開発において、FBER 評価[※3]、Rx/Tx LEQ 評価[※4]、リンクトレーニング評価などのコンプライアンステストに MP1900A を活用しています。さらに、キャプチャ機能による低頻度エラー解析や、シーケンスエディタ機能でのステートマシン解析など、開発からデバッ

グまで幅広い工程で利用されています。これにより、次世代 SSD 開発における効率的な評価環境の構築に貢献しています。

アンリツは、次世代インターフェース技術に不可欠なシグナルインテグリティ検証技術のさらなる高度化に取り組み、半導体、ストレージおよび高速インターフェース開発企業の効率的な評価環境構築を支援してまいります。

※ PCIe®、PCI Express®は PCI-SIG の登録商標です。

MP1900A の詳細：

<https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/products/mp1900a>

用語解説：

[※1] PCIe リンクトレーニング機能

PCIe 機器同士が通信速度や動作条件を自動調整し、通信を確立するプロセスを評価する機能

[※2] LTSSM 解析機能

LTSSM は「Link Training and Status State Machine」の略。PCIe 通信の接続確立や運用時における状態遷移を解析する機能

[※3] FBER 評価

FBER は「First Bit Error Rate」の略。PCIe 6.0 において、誤り訂正機能（FEC）適用前のビット誤り率を評価する試験

[※4] Rx/Tx LEQ 評価

LEQ は「Link Equalization」の略。受信側（Rx）および送信側（Tx）の信号補正性能を評価する試験。

アンリツの製品・ソリューション・その他の情報は、

ソリューション紹介ページ <https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/solutions>

および Facebook <https://www.facebook.com/AnritsuTandM> でご覧いただけます。

[報道関係のお問い合わせ先]

アンリツ株式会社

コーポレートブランディング部 鈴木

TEL：046-296-6671

E-mail：PR@anritsu.com